

## たつの市制10周年 第九を歌う

たつの市制10周年を記念してベートーヴェンの「第九」を歌う特別企画が予定されています。

たつの市民や近隣の町の人たち130人の合唱団員が、12月20日の本番に向けて熱心に練習しています。

### 歌声が天井を揺さぶる

本格的な練習は6月から。毎週土曜日に集まる老若男女は、歌が



練習風景

好きでたまらない人たちばかりです。練習のひとつときは日常から抜け出した楽しい雰囲気漂っています。御津町から参加の松野久美子さんは、学生時代から40年間合唱をしています。第九は初めてです。「募集が出た翌日に参加を申し込みました」と笑顔で話して下さいました。

合唱指導者の中條浩樹氏は「第九の合唱は長い練習期間を通して団員全体で作りに上げていく魅力があります。」

また、年末に歌を楽しむということは第九の合唱が日本の風土にあっていからでしょう」と熱く話して下さいました。



松野久美子さん  
(右から3人目)

「第九」の合唱

\*12月20日(日)

\*14時開演

\*赤とんぼ文化ホール

\*詳細は「広報たつの」参照

【取材・文責：山本健一】

## 第11回夏休み木工教室に参加して！

### ヤッター！僕の巣箱ができた、私も本立てが出来た！

去る8月1日(土)に西播建築業組合の主催で小学生を対象に「夏休み木工教室」が開かれました。今年は連日猛暑日にもかかわらず26名の参加があり、会場の小宅小学校の図工室はいっぱいになりました。

挨拶の中で組合長の岡正三さんは「今日の木工教室が楽しい思い出になるように、そして将来一人でも大工さんが生まれればうれしい！」と大きな夢を語っておられました。

また校長先生は「プロの大工



何を作っているのかな

さんに教えてもらうのは小宅小学校だけです」と力強く話されていました。先生方のやる気と大工さんたちの本気が伝わってくる取り組みではないかと感じました。

11名の大工さんたちが各作業台をまわり適時適切に、アドバイスをしておられました。大工さんの耳に鉛筆がはさまれている姿は「職人」らしくていい感じでした。

のこ(のこぎり)を引くときは「肘がまっすぐにぬけるように」



出来上がった巣箱



参加者全員で

紙ヤスリは木片に包むと持ちやすくなり、スリやすいよ・・・などなど。出来上がりが近づくとより力が入り、「世界に一つだけの作品」作りに夢中になっていました。汗をふきふきの3時間でしたが、子ども達の顔は満足感で誇らしげに見えました。

〈問い合わせ先〉

西播建築業組合

Tel:0791-62-1950

【取材・文責：西村光代】